

指紋ならびに血液型上よりみたる日本人の研究

甌島々人の指紋および血液型について

第 1 編

甌 島 々 人 の 指 紋

、鹿児島大学医学部法医学教室（指導：前主任 三上芳雄教授）

村 永 兼 三

〔昭和 32 年 9 月 20 日受稿〕

緒 言

わが日本民族の民族因子が一元的でなく多元的であると言うことは清野はじめ多数の人類学者によつて唱えられているが、日本列島はその地理的位置から考察しても太古から周囲地方から人種的交渉のあつたであろうことは当然考えられる。その混血要素としてはあらゆる身体的特徴から考えて原日本人、旧アイヌ人、南方モンゴロイド人、タタール人、満洲人、支那人、朝鮮人、ネグリート人、ミクロネシア人、インドネシア人等多数の素因が想像されている。松村によれば北はシベリア原住民に、南は南支、および印度支那原住民に酷似していると云われるが、日本民族の連なりは北はシベリアから南は馬來地方にまでおよぶとも考えられる。小金井は日本民族の構成は南方からのマライ人、大陸からのモンゴロイド人およびアイヌ人が大なる影響を与えていると云う。

以上のごとく、日本民族は過去において幾多の人種の混血をうけ、それが自然的淘汰をうけながらもなお充分の融和をとげ得ない状態において今日に至っている点は大方諸賢のみとめるごとくである。而してその混血複合関係としては体質人類学上からみても、また文化人類学上からみても南方民族にも多分の関係が想像されている。極端ではあるが西村のごときは直接インドネシア人を考え、その上陸地点を大隅、薩摩および土佐として、こ

の地方の住民はインドネシア人と体質的にきわめて類似性があると唱えている。

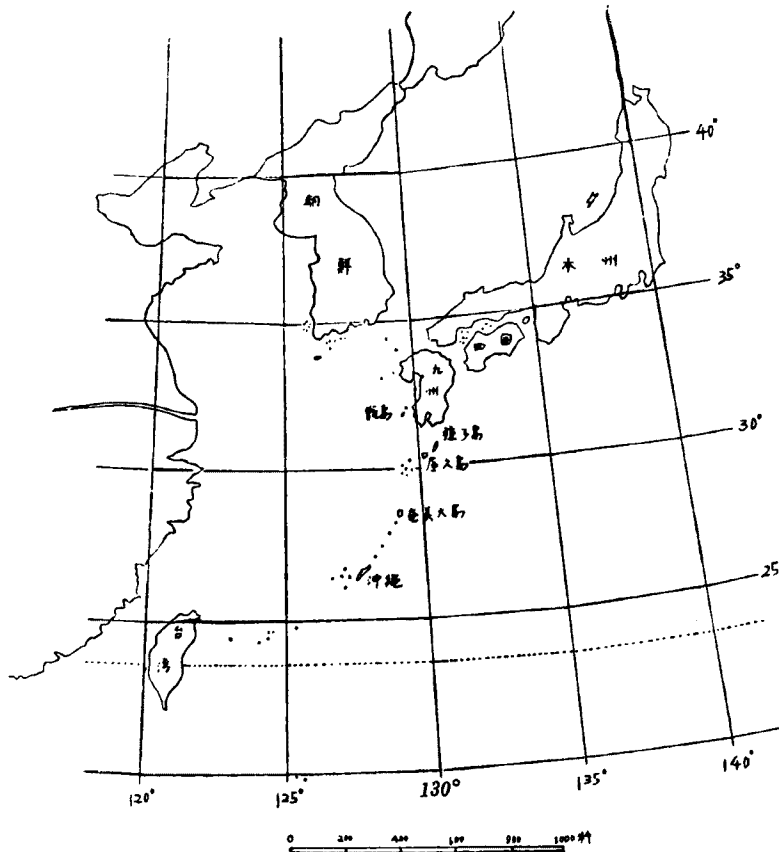
さて人類学の研究は軌近頃に隆盛となり、或いは体質学的方面から、或いは文化人類学的方面から、または血液型、指紋、掌足紋の頻度等からその研究もきわめて多岐にわたつている。ことに血液型ならびに指紋についてはそれが遺伝する形質であることから、これからする人種人類学的研究もきわめて活潑である。当教室においては三上教授が昭和18年から終戦まで東印度諸島ジャワ島に職務上在住し、従来まで吾人において該地方人の人類学的研究はほとんど不可能の状態にあつたものにたいし多数の指紋ならびに血液型を調査された結果を中心として、これと日本人、とくに九州日本人のそれと比較してその人類学的研究を企図してきた。而して今日まですでに中村および益子は北九州人、馴田は南九州人、西は種子島々人との比較について報告している。その結果はジャワ島インドネシア人の指紋の頻度は九州日本人、とくに南九州地方人、さらに種子島々人に一層近似し、北九州地方人とは大部分の指紋の点において頻差の存することを指摘し、この点南九州人、とくに種子島々人にたいしては多分に南方人の影響が想像され、日本人の人種人類学的研究にたいしてきわめて示唆することが多いとのべている。一方岩永および馴田、西の調査した ABO 式血液型の頻度においてもこの点がかがわれ、九州日本人は南方人に頻度のたか

いO型において北九州地方人と南九州地方人間に頻差があり、後者においてその頻度たかく、この点琉球列島人により接近し、日本列島と南方諸地方を一連的に考察する場合、指紋の場合同様、南九州日本人にたいしては南方地方人の交流が考えられると報告している。

著者も如上当教室の研究の一部を分担して、著者が永年にわたり居住する甑島において同島人の指紋ならびに血液型の頻度を調査し、これとインドネシア人を中心とする南方人のその比較考察を企図した。

ちなみに同島は支那大陸、九州島ならびに南方地方にたいする島嶼位置等から人種学的にきわめて興味のあるところである。第1編に指紋、第2編に血液型について報告する。(図1)

図 1



I. 甑島の文献的考察

甑島は九州島薩摩半島の川内川口から約25.7キロの西方海上に存在し、北北東から南南西につらなる列島で、東西の最大幅11キロ、南北の長経35キロの細長い島々で、上甑、平良、下甑の3島およびこれに附属した数個の無人島から成立している(図2)。面積は118.82平方キロ、人口は23270名で、1平方キロあたり204名の人口密度で、小籬氏ものべているように島の属する薩摩郡のそれにくらべて著しく濃厚である。

波多江氏によれば、島は地質学上所謂琉球弧に属し、天草島、長島、宇治群島とともにその一番内側の系列をなしている。島全体高峻な山嶽地帯をなして平地がすくなく、山岳

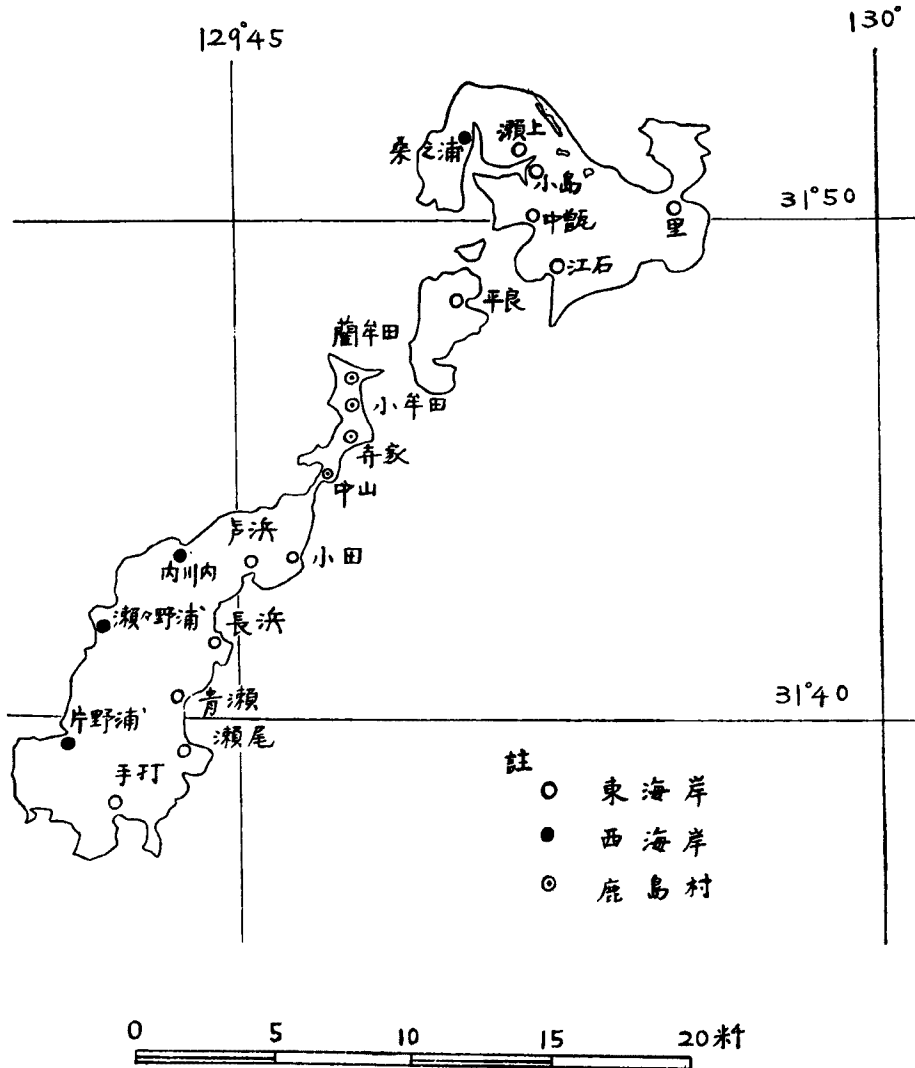
の中腹まで階段状に帯状の畑を開墾耕作しており、海岸には浸蝕のため絶壁がせまり、島内の陸上交通は、はなはだ困難であり、現今においてすら道らしい道はなく、ほとんど山道ばかりで車馬の便がなく峻阻な山をこえて隣部落へ行かねばならず、その困難さは言語に絶するものがある。このことは甑島が地形に制約され、九州西方海上に孤立している地理的位置とともに、甑島の特異性として島に住

む人々の生活を規定づけ、島の性格、展開せる歴史にまで影響したことはみのがすことができない。小藺氏は「甌島の地理」に島の地形をのべ、湾頭に居を占めた先人は後方の山地を踏みこえて他の部落と交通するを得ず、山の嶮と棘木と海崖とは舟航の発達する近世まで小さな孤立的な社会を存続せしめた、と推論している。このように各部落が各々孤立し、排他的であり、他部落との交通や婚姻がおこなわれ難く、長年にわたつて近親乃至部落内結婚がくりかえされたことは想像に難くないところである。気候は温暖多雨で夏期は南から、冬期は北西の季節風が吹きつけ、琉

球列島から北上する低気圧の通路にあたり、年々台風の災害が後を断たない。

本論文の資料は甌島における古くからの集落を対照として曾祖父母にまでさかのぼつて調査し、地形的条件、風俗、習慣、伝説、系図、言語などを目標として、東海岸群と西海岸群、それと一般には朝鮮系と称せられている鹿島村群——おそらくこれは外来種族を蔑視する風潮から朝鮮、朝鮮と呼称したものと思われ、鹿島村人が朝鮮人であるとの文献はまったく存在しない——の3群にわけて選出した(図2)。

図 2



さて本島に居住した住民についての文献は詳かでないが、古くから住民の土着したことは石器や土器の存在から容易にうかがうことができる。すなわち縄文、弥生、古墳の各期にわたり本土文化の波及をうけ、南九州とくに薩摩半島西海岸と密接不離の関係がみとめられ、同一文化圏に属していたことが判明する。この島の土器は弥生式土器を中心とするものであるが、遺跡の規格の小なること、遺跡数のすくないことなどは、この島が貧弱な文化しかもたなかつたことを示すものであろう。しかしながらこの文化のうち、とくに東海岸においては市来式土器や、有肩石斧の出土より南方の要素のみられる事実はこの地が本土文化の南方伝播の足場としてのみでなく、南方文化の本土流入の門戸となつたことが考えられ、また西海岸においては片野浦に発見の遠賀川式を思わせる土器の存在は北九州との文化交流を考えさせる。

この時代を経て歴史時代になつてはじめて文献にあらわれたのは統日本紀に「孝謙天皇神護景雲3年11月天皇薩摩国正六位下、甌隼人麻比古に正六位上を授く」とあり、さらにさきに天皇の御代には遣唐使船が帰途逆風にあい、薩摩の甌島郡に漂着しており、わが国と唐や新羅との交通がさかんになるにつれ主要な寄港路としての便が開かれている。このように甌隼人が本島に居住していたことはあきらかであり、それは大隅、薩摩、日向、阿多隼人とともに隼人族の一支族であると思われるが、西村氏は「日本上代史上の諸種族」において、隼人はインドネシア族であつて、慥かな性質のためにながく日本人に反抗をつづけ、平安時代まで隼人司がおかれてあつたほど融和にはながい年月の経過を要したものと考えられると称し、熊襲、肥人とは異つた種族であることをみとめている。氏は隼人がインドネシア系であると前提して日本人とインドネシア人の体質を比較してインドネシア人の上陸地点と考えられる大隅、薩摩、土佐地方の頭蓋指数は大體広頭的であり、その地点と背面の関係にある筑前、筑後、讃岐地方

のそれは狭頭的であり、両者は相対蹠的關係にあるとのべている。

甌島の集落構成および人口動態については、東、西両海岸とも現在の集落が相当古くから存在したものと思われ、島内の人口が他え移動して2、3のあたらしい部落をつくつたのは、島外からの集団的な移住についての史実はほとんど文献にみ当たらないようであるが、塩田氏の祖となつた藤原実顕蔵人をはじめとして梶原平藏景時の子孫、小川氏などの地頭や代官などの末孫やその一族などの入島も史実にあきらかであり、源、平氏の一族または楠氏の残党などが相当数渡島したことも言い伝えられており、流罪人などの本島に流された記事もあり、本島に子孫を残しているが、その後漁業の発達につれ、天草方面から散発的に移住したと思われる点もある。

出島のことについては、うちつづく災害や飢饉のため天明6、7年頃甌島郷土が47戸串良に移住したものをはじめとし、明治19年不作不漁のために約400戸ちかくが種子島え移住したことはすくないこの島の人口から言つて特記すべき事項である。このことは前にものべたように、すくない耕地に濃厚な人口密度の故をもつて、食糧には何時の時代にも不足がちで人口の飽和状態に達しては、災害や飢饉が動機となつて移出を繰返していたことを示すもので、史実にあらわれただけでも一再にとどまらず、相当古い時代から繰返されていたことは想像に難くない。

さらに徳留氏は甌島里村および手打住民を、吉田氏は鹿島村蘭牟田住民の生体計測の結果甌島々民が民族学的に単一な種族でないことを指摘し、蘭牟田住民は固有島民からあきらかに区別されねばならない住民群であるとのべ、いづれも九州西海岸諸島群、北部琉球列島群にちかいとしている。しかして徳留氏はさらに手掌理紋について研究し、里村および手打群は生体計測の結果と一致するが、蘭牟田群に関しては、計測的には甌島島民化していたとしても、手掌皮膚隆線系統の上では朝鮮人にちかい結果を示したとのべているが、

いづれも上記の3部落にとどまり, その他の部落ならびに西海岸については調査をおこなっていない。

以上の甌島に関する種々の文献からこれを考察し, さらに私見を加えてみるならば, 甌島を構成する種族は九州島に関係するもののほかにおそらく同島の地理的位置等からしてもそのうちには南方民族もふくまれていたとも考えられ, 季節風や黒潮海流にのつて南方民族が漂着したとすればそれは地形上鹿島村をふくむ東海岸が考えられる。これは同島の熱帯植物の分布からしてもうなづかれる。一方金関氏がのべるごとく, 北九州および山口県豊浦郡土井ヶ浜出土の弥生期の人骨が南朝鮮人を想像させるものとすれば島づたいに北九州, 天草から甌島えわたつたものと想像され, または冬期の北西の季節風と対馬海流にのつて本島に渡来すれば西海岸であり, そこには遠賀川式を思わせる土器文化を残している。いづれもそこに土着繁殖しつつあるとき平氏滅亡前後に入島したと伝えられる源平系もこれと混血し, その後はほとんど入島はなく, 人口の飽和状態に達しては島外への移出をくりかえしつつ, 集落を構成して現在の集落と人口の基盤をきづいたとも考えられる。さらにこのことは甌島々内の地域の差によつて言語のなまりを異にし, 相互に孤立心がよく, 排他的であり, 現在においても他部落との結婚の交流がおこなわれ難いと言う民俗的風習と思ひあわせるとき, その由来はすでに遠く先史時代にさかのぼり, 片野浦に発見の遠賀川式土器の西海岸のみにみられ, 峰一つへだてた東海岸にはみとめられないことや, 遺跡の分布が孤立的であることなどは, 小さな島にありながら相互の交流がなかつたことを示すもので, 各小集団が排他的, 孤立性の面を多分にもつていたと考えられる。それに加えるに現在においても道らしい道もなく, 各部落間の交通のおこなわれ難いことは, 一層部落を孤立的なものにしたと考える。

ちなみに本論文の東海岸群は里, 江石, 中甌, 中野, 小島, 瀬上, 平良, 長浜, 芦浜,

小田, 青瀬, 瀬尾, 手打部落などをふくみ, 人口17,579名, 西海岸群は片野浦, 瀬々野浦, 内川内, 桑之浦部落をふくみ人口2,681名, 鹿島村群は蘭牟田, 小牟田, 中山, 寺家部落をふくみ人口3,010名である。

II. 甌島々人の指紋

資 料

資料は甌島の地形から東海岸と西海岸, それに異種族視される鹿島村の3群にわけて採取した指紋であり, 東海岸群は里, 江石, 中甌, 中野, 小島, 瀬上, 平良, 長浜, 蘆浜, 小田, 青瀬, 瀬尾, 手打の各部落, 西海岸群は片野浦, 瀬々野浦, 内川内, 桑之浦の各部落, 鹿島村群は蘭牟田, 小牟田, 中山, 寺家の各部落について(図2), 同地にきわめてふるくから土着した東海岸群(男子3,600名, 女子3,400名, 合計7,000名), 西海岸群(男子610名, 女子570名, 合計1,180名)および鹿島村群(男子620名, 女子735名, 合計1,355名), 総計9,530名の指紋にして, 各人についてはその系図等より厳選して不詳のものはすべてこれを除外した。

成 績

A. 甌島々人の指紋

1. 各型指紋の頻度

上記東海岸, 西海岸および鹿島村人各群男女の4種指紋型の各指における出現頻度を表示すると表1, 2, 3, 4(♂)および5, 6, 7, 8(♀)のごとくである。

男子の全指における頻度: 東海岸人はu型54.4%±0.26%, w型40.5%±0.25%, r型3.9%±0.1%およびa型1.2%±0.05%; 西海岸人はw型48.6%±0.63%, u型47.6%±0.63%, r型2.8%±0.21%およびa型1.0%±0.12%; 鹿島村人はu型59.8%±0.62%, w型36.5%±0.61%, r型2.7%±0.2%およびa型1.0%±0.12%; 全甌島々人としてu型54.2%±0.22%, w型41.1%±0.22%, r型3.6%±0.08%およびa型1.1%±

表1 東海岸人(♂)における各型指紋の頻度

指紋型	指	左	右	計
a	I	0.4±0.04	0.2±0.03	0.3±0.02
	II	0.6±0.05	0.7±0.06	0.7±0.04
	III	0.2±0.03	0.2±0.03	0.2±0.02
	IV	0	0	0
	V	0	0	0
	I-V	1.2±0.08	1.1±0.07	1.2±0.05
r	I	0	0	0
	II	3.4±0.13	3.4±0.13	3.4±0.09
	III	0.4±0.04	0.4±0.04	0.4±0.03
	IV	0	0.1±0.02	0.1±0.01
	V	0	0	0
	I-V	3.8±0.14	3.9±0.14	3.9±0.10
u	I	10.2±0.22	9.0±0.21	9.6±0.15
	II	8.4±0.20	7.8±0.19	8.1±0.14
	III	13.1±0.25	14.2±0.25	13.6±0.18
	IV	9.4±0.21	8.0±0.20	8.7±0.14
	V	15.2±0.26	13.6±0.25	14.4±0.18
	I-V	56.3±0.36	52.6±0.37	54.4±0.26
w	I	9.5±0.21	10.8±0.23	10.1±0.15
	II	7.6±0.19	8.1±0.20	7.9±0.14
	III	6.3±0.18	5.3±0.16	5.7±0.12
	IV	10.5±0.22	11.9±0.24	11.2±0.16
	V	4.8±0.17	6.3±0.18	5.6±0.12
	I-V	38.7±0.36	42.4±0.36	40.5±0.25

表2 西海岸人(♂)における各型指紋の頻度

指紋型	指	左	右	計
a	I	0.2±0.06	0.1±0.05	0.1±0.04
	II	0.6±0.13	0.6±0.13	0.6±0.09
	III	0.2±0.06	0.2±0.06	0.2±0.05
	IV	0.1±0.05	0.1±0.05	0.1±0.04
	V	0	0	0
	I-V	1.1±0.16	1.0±0.15	1.0±0.12
r	I	0	0	0
	II	2.5±0.28	2.7±0.29	2.6±0.20
	III	0.2±0.06	0.2±0.06	0.2±0.05
	IV	0	0	0
	V	0	0	0
	I-V	2.7±0.29	2.9±0.30	2.8±0.21

u	I	8.3±0.49	7.3±0.47	7.8±0.34
	II	7.7±0.48	7.3±0.47	7.5±0.33
	III	12.2±0.59	13.0±0.61	12.6±0.42
	IV	7.3±0.47	6.6±0.44	7.0±0.32
	V	13.1±0.61	12.3±0.59	12.7±0.42
	I-V	48.6±0.90	46.5±0.90	47.6±0.63
w	I	11.4±0.57	12.6±0.60	12.0±0.41
	II	9.3±0.52	9.4±0.52	9.3±0.37
	III	7.4±0.47	6.6±0.44	7.0±0.32
	IV	12.6±0.60	13.3±0.61	13.0±0.43
	V	6.9±0.45	7.7±0.48	7.3±0.33
	I-V	47.6±0.90	49.6±0.90	48.6±0.63

表3 鹿島村人(♂)における各型指紋の頻度

指紋型	指	左	右	計
a	I	0.2±0.08	0.1±0.05	0.1±0.04
	II	0.4±0.11	0.6±0.13	0.5±0.09
	III	0.2±0.08	0.2±0.08	0.2±0.05
	IV	0.1±0.05	0.1±0.05	0.1±0.04
	V	0.1±0.05	0	0.1±0.04
	I-V	1.0±0.17	1.0±0.17	1.0±0.12
r	I	0	0	0
	II	2.3±0.26	2.3±0.26	2.3±0.19
	III	0.4±0.11	0.1±0.05	0.3±0.07
	IV	0	0.2±0.08	0.1±0.04
	V	0	0	0
	I-V	2.7±0.29	2.6±0.28	2.7±0.20
u	I	10.4±0.54	9.9±0.53	10.1±0.38
	II	10.7±0.55	10.7±0.55	10.7±0.39
	III	14.7±0.63	15.9±0.65	15.2±0.45
	IV	9.6±0.52	8.3±0.49	9.0±0.36
	V	15.6±0.65	13.9±0.62	14.8±0.45
	I-V	61.0±0.88	58.7±0.88	59.8±0.62
w	I	9.5±0.52	9.9±0.53	9.7±0.37
	II	6.5±0.44	6.4±0.44	6.5±0.31
	III	4.6±0.37	3.8±0.34	4.2±0.25
	IV	10.4±0.54	11.6±0.57	10.9±0.39
	V	4.3±0.36	6.0±0.42	5.2±0.28
	I-V	35.3±0.85	37.7±0.87	36.5±0.61

表4 甌島全島々人(♂)としての各型指紋の頻度

指紋型	指	左	右	計
a	I	0.3±0.03	0.2±0.03	0.3±0.02
	II	0.5±0.04	0.6±0.05	0.5±0.03
	III	0.2±0.03	0.2±0.03	0.2±0.02
	IV	0.1±0.02	0.1±0.02	0.1±0.01
	V	0.1±0.02	0	0
	I-V	1.2±0.07	1.1±0.06	1.1±0.04
r	I	0	0	0
	II	3.2±0.11	3.2±0.11	3.2±0.08
	III	0.4±0.04	0.3±0.03	0.4±0.03
	IV	0	0.1±0.02	0
	V	0	0	0
	I-V	3.6±0.12	3.6±0.12	3.6±0.08
u	I	9.9±0.19	8.9±0.18	9.4±0.13
	II	8.6±0.18	8.1±0.17	8.3±0.12
	III	13.2±0.22	14.3±0.22	13.7±0.15
	IV	9.3±0.18	7.9±0.17	8.6±0.12
	V	14.9±0.23	13.5±0.22	14.2±0.16
	I-V	55.9±0.32	52.7±0.32	54.2±0.22
w	I	9.7±0.19	10.9±0.20	10.3±0.14
	II	7.7±0.17	8.1±0.17	7.9±0.12
	III	6.2±0.15	5.2±0.14	5.7±0.10
	IV	10.7±0.20	12.0±0.21	11.4±0.14
	V	5.0±0.14	6.4±0.15	5.8±0.10
	I-V	39.3±0.31	42.6±0.32	41.1±0.22

表5 東海岸人(♀)における各型指紋の頻度

指紋型	指	左	右	計
a	I	0.9±0.07	0.7±0.06	0.8±0.04
	II	0.9±0.07	0.9±0.07	0.9±0.05
	III	0.5±0.05	0.3±0.04	0.4±0.03
	IV	0.1±0.02	0.1±0.02	0.1±0.01
	V	0.2±0.03	0.1±0.02	0.2±0.02
	I-V	2.6±0.12	2.1±0.10	2.4±0.08
r	I	0	0	0
	II	2.9±0.12	2.0±0.10	2.4±0.08
	III	0.3±0.04	0.1±0.02	0.2±0.02
	IV	0.1±0.02	0.1±0.02	0.1±0.01
	V	0	0	0
	I-V	3.3±0.13	2.2±0.11	2.7±0.08

u	I	10.2±0.23	11.0±0.23	10.5±0.17
	II	8.6±0.21	9.8±0.22	9.2±0.14
	III	13.2±0.27	15.0±0.28	14.1±0.18
	IV	9.7±0.22	9.0±0.21	9.4±0.15
	V	15.6±0.29	15.4±0.29	15.5±0.19
	I-V	57.3±0.37	60.2±0.36	58.7±0.26
w	I	8.9±0.21	8.4±0.21	8.7±0.15
	II	7.7±0.20	7.3±0.19	7.5±0.14
	III	5.9±0.16	4.5±0.15	5.2±0.12
	IV	10.0±0.23	10.8±0.23	10.4±0.16
	V	4.3±0.14	4.5±0.15	4.4±0.11
	I-V	36.8±0.36	35.5±0.36	36.2±0.26

表6 西海岸人(♀)における各型指紋の頻度

指紋型	指	左	右	計
a	I	1.0±0.18	0.6±0.14	0.8±0.11
	II	0.7±0.15	0.8±0.16	0.8±0.11
	III	0.5±0.13	0.3±0.10	0.4±0.08
	IV	0.1±0.06	0.1±0.06	0.1±0.04
	V	0.1±0.06	0.1±0.06	0.1±0.04
	I-V	2.4±0.28	1.9±0.25	2.2±0.19
r	I	0	0	0
	II	3.2±0.33	2.1±0.26	2.6±0.21
	III	0.2±0.08	0.2±0.08	0.2±0.06
	IV	0	0.1±0.06	0.1±0.04
	V	0	0	0
	I-V	3.4±0.33	2.4±0.28	2.9±0.22
u	I	9.1±0.53	8.9±0.53	9.0±0.37
	II	7.5±0.49	9.4±0.54	8.4±0.36
	III	13.6±0.64	14.7±0.66	14.2±0.46
	IV	9.2±0.57	8.6±0.50	8.9±0.37
	V	14.7±0.65	15.0±0.66	14.8±0.47
	I-V	54.1±0.93	56.6±0.96	55.3±0.65
w	I	9.9±0.55	10.5±0.57	10.2±0.40
	II	8.6±0.52	7.9±0.50	8.2±0.36
	III	5.6±0.43	4.8±0.39	5.2±0.29
	IV	10.8±0.58	11.1±0.58	11.0±0.41
	V	5.2±0.41	4.8±0.39	5.0±0.28
	I-V	40.1±0.91	39.1±0.90	39.6±0.64

表7 鹿島村人(♀)における各型指紋の頻度

指紋型	指	左	右	計
a	I	0.3±0.09	0.2±0.07	0.2±0.05
	II	0.6±0.13	0.5±0.11	0.6±0.09
	III	0.4±0.11	0.3±0.09	0.4±0.07
	IV	0.1±0.05	0.1±0.05	0.1±0.03
	V	0	0.1±0.05	0
	I-V	1.4±0.19	1.2±0.18	1.3±0.13
r	I	0	0	0
	II	2.4±0.25	1.4±0.19	1.9±0.16
	III	0.2±0.07	0.1±0.05	0.1±0.03
	IV	0	0.1±0.05	0.1±0.03
	V	0	0	0
	I-V	2.6±0.26	1.6±0.20	2.1±0.17
u	I	10.6±0.50	11.6±0.53	11.1±0.36
	II	10.9±0.51	12.5±0.54	11.7±0.37
	III	14.7±0.58	16.8±0.61	15.8±0.42
	IV	10.4±0.50	9.2±0.47	9.8±0.34
	V	15.5±0.59	15.5±0.59	15.5±0.42
	I-V	62.1±0.80	65.6±0.78	63.9±0.55
w	I	9.0±0.47	8.2±0.45	8.5±0.32
	II	6.3±0.40	5.6±0.38	6.0±0.27
	III	4.6±0.34	2.9±0.27	3.8±0.22
	IV	9.4±0.48	10.6±0.50	10.0±0.35
	V	4.6±0.34	4.3±0.33	4.4±0.24
	I-V	33.9±0.78	31.6±0.76	32.7±0.54

表8 甌島全島人(♀)としての各型指紋の頻度

指紋型	指	左	右	計
a	I	0.8±0.06	0.6±0.05	0.7±0.04
	II	0.8±0.06	0.8±0.06	0.8±0.04
	III	0.5±0.04	0.3±0.03	0.4±0.03
	IV	0.1±0.02	0.1±0.02	0.1±0.01
	V	0.2±0.03	0.1±0.02	0.1±0.01
	I-V	2.4±0.10	1.9±0.09	2.1±0.06
r	I	0	0	0
	II	2.8±0.10	1.9±0.09	2.4±0.07
	III	0.3±0.03	0.1±0.02	0.2±0.02
	IV	0.1±0.02	0.1±0.02	0.1±0.01
	V	0	0	0
	I-V	3.2±0.11	2.1±0.09	2.7±0.07

u	I	10.1±0.19	10.8±0.20	10.4±0.14
	II	8.8±0.18	10.3±0.19	9.6±0.13
	III	13.6±0.22	15.3±0.23	14.4±0.16
	IV	9.7±0.19	8.9±0.18	9.3±0.13
	V	15.4±0.23	15.4±0.23	15.4±0.16
	I-V	57.6±0.32	60.7±0.31	59.1±0.22
w	I	9.1±0.19	8.6±0.18	8.8±0.13
	II	7.6±0.17	7.1±0.17	7.3±0.12
	III	5.7±0.15	4.3±0.13	5.0±0.10
	IV	10.0±0.19	10.9±0.20	10.6±0.14
	V	4.4±0.13	4.4±0.13	4.4±0.09
	I-V	36.8±0.31	35.3±0.31	36.1±0.22

0.04%となる。

女子の全指における頻度：東海岸人はu型58.7%±0.26%, w型36.2%±0.26%, r型2.7%±0.08%およびa型2.4%±0.08%; 西海岸人はu型55.3%±0.65%, w型39.6%±0.64%; r型2.9%±0.22%およびa型2.2%±0.19%; 鹿島村人はu型63.9%±0.55%, w型32.7%±0.54%, r型2.1%±0.17%およびa型1.3%±0.13%; 全甌島々人としてu型59.1%±0.22%, w型36.1%±0.22%, r型2.7%±0.07%およびa型2.1%±0.06%となる。

すなわち、男子東海岸人の4種指紋型の頻度はu, w, rおよびa型指紋、西海岸人はw, u, rおよびa型指紋、鹿島村人はu, w, rおよびa型指紋の順となり、東海岸および鹿島村人はその頻度傾向類似し、西海岸人は異なる。

女子における頻度は3群ともにu, w, rおよびa型指紋の順であるが、西海岸人においてはw型指紋の頻度よりまさる。これ等の点については比較の項において詳述する。

2. 指紋配合式の頻度

つぎに東海岸、西海岸および鹿島村人各群男女の指紋配合式から出現頻度のたかい代表的指紋配合式10種類をえらび表示すると表9, 10, 11, 12(♂)および表13, 14, 15, 16(♀)のごとくである。

表9 東海岸人(♂)における代表的指紋配合式の頻度

指紋配合式	左	右	計
u u u u u	16.1±0.61	13.3±0.56	14.7±0.41
w w w w w	10.0±0.50	12.0±0.54	11.0±0.37
u r u u u	7.3±0.44	5.5±0.38	6.4±0.28
w u u u u	6.0±0.39	6.2±0.40	6.1±0.28
w w w w u	6.7±0.41	4.9±0.36	5.8±0.27
u u u w u	4.5±0.34	5.7±0.38	5.1±0.25
w w u w w	2.3±0.24	5.3±0.37	3.8±0.22
w w u u u	3.0±0.28	4.6±0.34	3.8±0.22
w u u w u	3.5±0.30	3.8±0.31	3.6±0.21
w r u u u	3.1±0.28	3.2±0.29	3.1±0.20

表10 西海岸人(♂)における代表的指紋配合式の頻度

指紋配合式	左	右	計
w w w w w	14.9±1.44	19.0±1.68	17.0±1.07
u u u u u	11.8±1.30	10.5±1.24	11.1±0.89
w u u u u	5.9±0.95	6.2±0.97	6.1±0.68
w w w w u	7.4±1.05	4.1±0.80	5.7±0.66
u u u w u	3.6±0.75	6.4±0.99	5.1±0.62
w u u w w	3.4±0.73	6.4±0.99	4.9±0.61
w w u w u	4.6±0.84	4.1±0.80	4.1±0.56
u r u u u	4.4±0.83	2.8±0.64	3.6±0.53
u w w w w	3.1±0.70	2.0±0.56	2.5±0.34
w w u u u	2.5±0.63	2.5±0.63	2.5±0.34

表11 鹿島村人(♂)における代表的指紋配合式の頻度

指紋配合式	左	右	計
u u u u u	22.6±1.67	20.5±1.60	21.5±1.16
w w w w w	8.1±1.09	8.5±1.11	8.3±0.78
w u u u u	6.6±0.99	8.1±1.09	7.3±0.73
u u u w u	6.3±0.97	5.8±0.93	6.0±0.67
w u u w u	6.1±0.96	5.8±0.93	5.8±0.66
w w u w u	6.0±0.95	4.4±0.82	5.1±0.62
u u u w w	2.3±0.60	6.1±0.96	4.2±0.56
w w u w w	2.8±0.66	5.8±0.93	4.2±0.56
u r u u u	4.5±0.83	3.2±0.70	3.9±0.52
w w w w u	3.7±0.75	3.6±0.74	3.6±0.52

表12 甌島全島人(♂)としての代表的指紋配合式の頻度

指紋配合式	左	右	計
u u u u u	16.4±0.53	12.9±0.48	15.2±0.36
w w w w w	10.4±0.44	12.4±0.47	11.4±0.32
u u u u u	6.1±0.34	6.5±0.38	6.3±0.24
u r u u u	6.6±0.35	4.9±0.31	5.7±0.23
w w w w u	6.4±0.35	4.6±0.30	5.5±0.23
u u u w u	4.7±0.30	5.8±0.33	5.2±0.22
w w u w u	3.6±0.27	4.5±0.30	4.0±0.20
w w u w w	2.5±0.22	5.5±0.32	4.0±0.20
w u u w u	3.4±0.26	3.5±0.26	3.4±0.18
w r u u u	2.3±0.21	2.4±0.22	2.3±0.15

表13 東海岸人(♀)における代表的指紋配合式の頻度

指紋配合式	左	右	計
u u u u u	18.1±0.66	22.8±0.71	20.2±0.48
w w w w w	9.5±0.50	9.0±0.49	9.3±0.35
u u u w u	4.4±0.35	7.7±0.45	6.0±0.28
w w w w u	6.0±0.40	5.2±0.39	6.0±0.28
w u u u u	5.4±0.38	5.9±0.40	5.7±0.28
u r u u u	5.5±0.38	3.8±0.32	4.7±0.25
w w u w u	3.7±0.32	4.5±0.35	4.2±0.24
w u u w u	3.0±0.29	3.9±0.33	3.5±0.22
u w w w u	3.5±0.31	2.4±0.25	3.0±0.20
u w u w u	2.3±0.25	3.4±0.31	2.8±0.19

表14 西海岸人(♀)における代表的指紋配合式の頻度

指紋配合式	左	右	計
u u u u u	16.0±1.53	18.1±1.60	17.0±1.11
w w w w w	11.9±1.35	11.1±1.31	11.5±0.94
w u u u u	6.0±0.99	8.1±1.14	7.0±0.75
w w w w u	6.0±0.99	7.4±1.09	6.7±0.74
u u u w u	4.0±0.82	6.3±1.01	5.2±0.65
w w u w w	4.9±0.90	4.0±0.82	4.5±0.61
u r u u u	5.1±0.94	3.3±0.74	4.2±0.59
w u u w u	2.5±0.65	5.6±0.96	4.0±0.58
w w u w u	4.0±0.82	3.9±0.81	3.9±0.57
w w u u u	3.2±0.73	3.5±0.76	3.3±0.52

表15 鹿島村人(♀)における代表的指紋配合式の頻度

指紋配合式	左	右	計
u u u u u	21.5±1.51	25.6±1.61	23.5±1.10
w u u u u	9.3±1.07	7.5±0.97	8.4±0.72
u u u w u	4.8±0.78	10.9±1.14	7.8±0.69
w w w w w	7.6±0.97	5.9±0.86	6.7±0.65
w u u w u	5.6±0.84	6.1±0.88	5.9±0.61
u r u u u	5.0±0.80	2.6±0.58	3.8±0.49
w w u w u	3.1±0.63	4.4±0.75	3.7±0.49
w w w w u	3.8±0.70	2.9±0.61	3.3±0.46
w w u w w	2.2±0.54	3.5±0.67	2.9±0.43
u w u w u	1.8±0.49	3.7±0.70	2.7±0.42

表16 甌島全島人(♀)としての代表的指紋配合式の頻度

指紋配合式	左	右	計
u u u u u	18.4±0.56	22.3±0.60	20.3±0.41
w w w w w	9.5±0.42	8.8±0.41	9.1±0.29
w u u u u	6.1±0.32	6.4±0.34	6.2±0.24
u u u w u	4.4±0.29	8.0±0.39	6.2±0.24
w w w w u	6.3±0.35	4.1±0.28	5.7±0.23
u r u u u	5.4±0.32	3.5±0.26	4.5±0.21
w w u w u	3.7±0.27	4.4±0.29	4.1±0.20
w u u w u	3.4±0.26	4.5±0.29	3.9±0.19
u w u w u	1.9±0.19	3.0±0.25	2.5±0.16
u w w w u	2.5±0.22	1.8±0.19	2.1±0.15

男子における指紋配合式の高頻度：東海岸人は u_5 (14.7%) および w_5 (11.0%) 配合式の頻度たかく、つづいて u_1 r_1 u_3 , w_1 u_4 , 西海岸人は w_5 (17.0%) および u_5 (11.1%) 配合式の頻度たかく、ついで w_1 u_4 , w_4 u_1 , 鹿島村人は u_5 (21.5%) 配合式の頻度たかく、ついで w_5 , w_1 u_4 , 全甌島々人としては u_5 (15.2%) および w_5 (11.4%) の頻度たかく、ついで w_1 u_4 , u_1 r_1 u_3 等がこれにつく。

女子における指紋配合式の高頻度：東海岸人は u_5 (20.2%) および w_5 (9.3%) 配合式の頻度たかく、ついで u_3 w_1 u_1 , w_4 u_1 , 西海岸人は u_5 (17.0%) および w_5 (11.5%) 配合式の頻度たかく、ついで w_1 u_4 , w_4 u_1 , 鹿島村人は u_5 (23.5%) 配合式の頻度たかく、ついで w_1 u_4 , u_3 w_1

u_1 , w_5 , 全甌島々人としては u_5 (20.3%) および w_5 (9.1%) 配合式の頻度たかく、ついで w_1 u_4 , u_3 w_1 u_1 , w_4 u_1 等がこれにつく。
すなわち、男子における指紋配合式の高頻度は東海岸および鹿島村人はいづれも u_5 配合式の頻度が高頻度を示すが、西海岸人では w_5 配合式の頻度がたかい。女子においては3群ともに u_5 配合式が最高頻度を示すが、西海岸人における w_5 配合式の頻度は他2群のそれに比して頻度がたかい。詳述は比較の項にゆずる。

3. w型指紋を基準とした指紋配合式の頻度

つぎに指紋配合式をw型指紋をもつて整理して、その頻度を表示すると表17, 18, 19, 20(♂) および表21, 22, 23, 24(♀)のごとくである。

表17 東海岸人(♂)におけるw型指紋を基準とした指紋配合式の頻度

指紋型	側	左	右	計
w_5		10.0±0.50	12.0±0.54	11.0±0.37
w_4		12.6±0.55	13.5±0.57	13.1±0.39
w_3		13.8±0.57	14.3±0.58	14.0±0.41
w_2		15.9±0.61	17.1±0.62	16.6±0.43
w_1		20.0±0.66	20.5±0.67	20.1±0.47
w_0		27.7±0.74	22.6±0.69	25.2±0.51
$w_5+w_4+w_3$		36.4±0.80	39.8±0.81	38.1±0.81
$w_2+w_1+w_0$		63.6±0.80	60.2±0.81	61.9±0.81

表18 西海岸人(♂)におけるw型指紋を基準とした指紋配合式の頻度

指紋型	側	左	右	計
w_5		14.9±1.44	19.0±1.58	17.0±1.07
w_4		16.2±1.48	13.8±1.36	15.0±1.02
w_3		16.4±1.49	14.3±1.41	15.3±1.03
w_2		15.4±1.46	17.0±1.52	16.1±1.06
w_1		18.4±1.56	21.0±1.64	19.7±1.14
w_0		18.7±1.57	14.9±1.44	16.9±1.07
$w_5+w_4+w_3$		47.5±2.02	47.1±2.02	47.3±1.42
$w_2+w_1+w_0$		52.5±2.02	52.9±2.02	52.7±1.42

表19 鹿島村人(♂)におけるw型指紋を基準とした指紋配合式の頻度

指紋型	側	左	右	計
w ₅		8.1±1.09	8.5±1.11	8.3±0.78
w ₄		9.2±1.16	11.8±1.29	10.5±0.87
w ₃		14.5±1.41	12.7±1.33	13.6±0.97
w ₂		17.6±1.53	20.5±1.62	19.0±1.11
w ₁		20.3±1.61	19.4±1.59	19.8±1.13
w ₀		30.3±1.84	27.1±1.78	28.8±1.28
w ₅ +w ₄ +w ₃		31.8±1.87	33.0±1.89	32.4±1.33
w ₂ +w ₁ +w ₀		68.2±1.87	67.0±1.89	67.6±1.33

表20 甌島全島人(♂)としてのw型指紋を基準とした指紋配合式の頻度

指紋型	側	左	右	計
w ₅		10.4±0.44	12.4±0.47	11.4±0.32
w ₄		12.6±0.47	13.3±0.48	13.0±0.34
w ₃		14.2±0.50	14.1±0.50	14.1±0.35
w ₂		16.0±0.52	17.5±0.54	16.8±0.38
w ₁		19.9±0.57	20.5±0.57	20.1±0.40
w ₀		26.9±0.63	22.2±0.59	24.6±0.43
w ₅ +w ₄ +w ₃		37.2±0.69	39.8±0.70	38.5±0.49
w ₂ +w ₁ +w ₀		62.8±0.69	60.2±0.70	61.5±0.49

表21 東海岸人(♀)におけるw型指紋を基準とした指紋配合式の頻度

指紋型	側	左	右	計
w ₅		9.5±0.50	9.0±0.49	9.3±0.35
w ₄		11.6±0.54	10.5±0.52	11.0±0.38
w ₃		13.2±0.58	12.7±0.57	12.9±0.40
w ₂		15.3±0.61	15.6±0.62	15.5±0.43
w ₁		20.2±0.68	21.0±0.69	20.6±0.49
w ₀		30.2±0.78	31.2±0.79	30.7±0.55
w ₅ +w ₄ +w ₃		34.3±0.81	32.2±0.80	33.2±0.57
w ₂ +w ₁ +w ₀		65.7±0.81	67.8±0.80	66.8±0.57

男子のw型指紋を基準とした指紋配合式の頻度: 3群について指紋配合式を3指以上にw型指紋を有する配合式と, 3指未満のものとの両群にわけて観察すると, いづれも後者において高率を示すが, 西海岸人においてはその頻度東海岸および鹿島村人よりもひくく, さらに鹿島村人は東海岸人よりたか

表22 西海岸人(♀)におけるw型指紋を基準とした指紋配合式の頻度

指紋型	側	左	右	計
w ₅		11.9±1.35	11.0±1.31	11.5±0.94
w ₄		13.2±1.41	13.2±1.41	13.2±1.00
w ₃		13.0±1.40	10.7±1.29	11.8±0.95
w ₂		14.7±1.48	17.4±1.58	16.1±1.08
w ₁		19.5±1.66	20.9±1.71	20.2±1.19
w ₀		27.7±1.87	26.8±1.85	27.2±1.31
w ₅ +w ₄ +w ₃		38.1±2.03	34.9±1.99	36.5±1.42
w ₂ +w ₁ +w ₀		61.9±2.03	65.1±1.99	63.5±1.42

表23 鹿島村人(♀)におけるw型指紋を基準とした指紋配合式の頻度

指紋型	側	左	右	計
w ₅		7.6±0.97	5.9±0.86	6.7±0.65
w ₄		9.3±1.07	8.2±1.01	8.7±0.73
w ₃		11.7±1.18	12.0±1.20	11.9±0.84
w ₂		18.2±1.42	17.0±1.38	17.6±0.99
w ₁		22.7±1.54	25.6±1.61	24.2±1.12
w ₀		30.5±1.69	31.3±1.71	30.9±1.20
w ₅ +w ₄ +w ₃		28.6±1.66	26.1±1.62	27.3±1.16
w ₂ +w ₁ +w ₀		71.4±1.66	73.9±1.62	72.7±1.16

表24 甌島全島人(♀)としてのw型指紋を基準とした指紋配合式の頻度

指紋型	側	左	右	計
w ₅		9.5±0.42	8.8±0.41	9.1±0.29
w ₄		11.4±0.46	10.5±0.44	10.9±0.32
w ₃		12.9±0.49	12.3±0.48	12.7±0.34
w ₂		15.7±0.53	16.0±0.53	15.9±0.37
w ₁		20.6±0.59	21.7±0.60	21.1±0.42
w ₀		29.9±0.66	30.7±0.67	30.3±0.47
w ₅ +w ₄ +w ₃		33.8±0.69	31.6±0.67	32.7±0.48
w ₂ +w ₁ +w ₀		66.2±0.69	68.4±0.67	67.3±0.48

い。

女子のw型指紋を基準とした指紋配合式の頻度: 3群ともに3指未満にw型指紋を有する配合式において高頻度を示し, うち西海岸人にひくく, 鹿島村人において高率を示す。詳述は比較の項にゆずる。

全甌島々人としては男女ともに後者に頻度

たかく、女子は男子にまさる。

B. 甌島における東海岸、西海岸および鹿島村人の指紋頻度の比較

Aにおける甌島々人の指紋の頻度から東海岸、西海岸および鹿島村人各群を比較するために、全指における各型指紋、 u_5 および w_5 代表的指紋配合式および w_{0-2} ならびに w_{3-5} 指紋配合式の各頻度を表示すると表25, 26, 27 (♂) および表28, 29, 30 (♀) のごとくである。

1. 東海岸、西海岸および鹿島村人男子における指紋の頻度

まづ総指における各型指紋の頻度は u 型指紋の頻度が w 型指紋のそれに優るものは東海岸人 (Diff=13.9%±0.36%) および鹿島村人 (Diff=23.3%±0.86%) で、西海岸

表25 甌島東海岸、西海岸および鹿島村人 (♂) における各型指紋の頻度

地域名	a	r	u	w
東海岸人	1.2±0.05	3.9±0.10	54.4±0.26	40.5±0.25
西海岸人	1.0±0.12	2.8±0.21	47.6±0.63	48.6±0.63
鹿島村人	1.0±0.12	2.7±0.20	59.8±0.62	36.5±0.61

表26 甌島東海岸、西海岸および鹿島村人 (♂) における u_5 および w_5 指紋配合式の頻度

指紋配合式	u u u u u	w w w w w
東海岸人	14.7±0.41	11.0±0.37
西海岸人	11.1±0.89	17.0±1.07
鹿島村人	21.5±1.16	8.3±0.78

表27 甌島東海岸、西海岸および鹿島村人 (♂) における w 型指紋を基準とした指紋配合式の頻度

地域名	w_{0-2}	w_{3-5}
東海岸人	61.9±0.81	38.1±0.81
西海岸人	52.7±1.42	47.3±1.42
鹿島村人	67.6±1.33	32.4±1.33

表28 甌島東海岸、西海岸および鹿島村人 (♀) における各型指紋の頻度

地域名	a	r	u	w
東海岸人	2.4±0.08	2.7±0.08	58.7±0.26	36.2±0.26
西海岸人	2.2±0.19	2.9±0.22	55.3±0.65	39.6±0.64
鹿島村人	1.3±0.13	2.1±0.17	63.9±0.55	32.7±0.54

表29 甌島東海岸、西海岸人および鹿島村人 (♀) における u_5 および w_5 指紋配合式の頻度

指紋配合式	u u u u u	w w w w w
東海岸人	20.2±0.48	9.3±0.35
西海岸人	17.0±1.11	11.5±0.94
鹿島村人	23.5±1.10	6.7±0.65

表30 甌島東海岸、西海岸および鹿島村人 (♀) における w 型指紋を基準とした指紋配合式の頻度

地域名	w_{0-2}	w_{3-5}
東海岸人	66.8±0.57	33.2±0.57
西海岸人	63.5±1.42	36.5±1.42
鹿島村人	72.7±1.16	27.3±1.16

人は逆に w 型指紋の頻度が u 型指紋のそれに見掛上優り、前者群とは異なる。なお東海岸人と鹿島村人における u 型指紋の頻度は後者においてさらにたかく (Diff=5.4%±0.67%), w 型指紋の頻度はひくく (Diff=4.0%±0.65%) 両群間にも差異がみとめられる。 a および r 型指紋の頻度については3群間において有意の差は認められない。

つぎに指紋配合式中、とくに頻度のたかい u_5 および w_5 配合式について u_5 配合式の頻度が w_5 配合式のそれに優るものは東海岸人 (Diff=3.7%±0.55%) および鹿島村人 (Diff=13.2%±1.37%) で西海岸人は逆に w_5 配合式の頻度が u_5 配合式のそれに優り (Diff=5.9%±1.29%), 前者群とはきわめて異なる。なお東海岸人と鹿島村人における u_5 配合式の頻度は鹿島村人においてさらに

たかく (Diff=6.8%±1.23%), w₅ 配合式の頻度においてひくく (Diff=2.7%±0.86%), 両群間にも差異がみとめられる。

つぎに指紋配合式を w 型指紋をもつて整理して 3 指以上に w 型指紋を有する配合式と 3 指未満のものとの両群にわけてこの両群について 3 地方群を比較すると, いずれも 3 指以下に w 型指紋を有する配合式の頻度において優るが, 鹿島村人および東海岸人のそれは西海岸人に比してその頻度きわめてたかく (東海岸人 Diff=9.2%±1.63%, 鹿島村人 Diff=14.9%±1.94%), 西海岸人は 3 指以上に w 型指紋を有する頻度において両群に優る (東海岸人 Diff=9.2%±1.63%, 鹿島村人 Diff=14.9%±1.94%)。なお東海岸人と鹿島村人における 3 指以下に w 型指紋を有する配合式の頻度は鹿島村人においてさらにたかく (Diff=5.7%±1.55%), 両群間にも差異がみとめられる。

2. 東海岸, 西海岸および鹿島村人女子における指紋頻度

まづ総指における各型指紋の頻度は 3 群ともに u 型指紋の頻度が w 型指紋のそれに優るが, 鹿島村人および東海岸人のそれは西海岸人に比してその頻度よりたかく (東海岸人 Diff=3.4%±0.69%, 鹿島村人 Diff=8.6%±0.85%), 西海岸人は w 型指紋の頻度において両群に優り (東海岸人 Diff=3.4%±0.69%, 鹿島村人 Diff=6.9%±0.83%), 東海岸人および鹿島村人と西海岸人との間には差異がある。なお東海岸人と鹿島村人における u 型指紋の頻度は後者においてさらにたかく (Diff=5.2%±0.60%), w 型指紋の頻度はひくく (Diff=3.5%±0.59%), 両群間にも差異がみとめられる。a および r 型指紋の頻度については 3 群間においてとくにみとむべき差異はない。

つぎに指紋配合式中とくに頻度のたかい u₅ および w₅ 配合式は 3 群ともに u₅ 配合式の頻度が w₅ 配合式の頻度に優るが, 鹿島村人および東海岸人のそれは西海岸人に比してその頻度よりたかく (東海岸

人 Diff=3.2%±1.21%, 鹿島村人 Diff=6.5%±1.56%), 西海岸人は w₅ 配合式の頻度において逆に両群に優り (東海岸人 Diff=2.2%±1.00%, 鹿島村人 Diff=4.8%±1.17%), 東海岸人および鹿島村人と西海岸人間には差異がある。なお東海岸人と鹿島村人における u₅ 配合式の頻度は後者においてさらにたかく (Diff=3.3%±1.20%), w₅ 配合式の頻度はひくく (Diff=2.6%±0.72%), 両群間にも差異がみとめられる。

つぎに指紋配合式を w 型指紋をもつて整理して 3 指以上に w 型指紋を有する配合式と 3 指未満のものとの両群にわけてこの両群について 3 地方群を比較すると, いずれも 3 指以下に w 型指紋を有する配合式の頻度において優るが, 鹿島村人および東海岸人のそれは西海岸人に比してより優り (東海岸人 Diff=3.3%±1.50%, 鹿島村人 Diff=9.2%±1.85%), 西海岸人は 3 指以上に w 型指紋を有する頻度において両群に優る (東海岸人 Diff=3.3%±1.50%, 鹿島村人 Diff=9.2%±1.85%)。なお東海岸人と鹿島村人における 3 指以下に w 型指紋を有する配合式の頻度は鹿島村人においてさらにたかく (Diff=5.9%±1.28%), 両群間にも差異がみとめられる。

3. 以上甌島東海岸, 西海岸ならびに鹿島村人について各指紋の頻度から考察すると, 3 地方群はともに各指紋の頻度において差異があり, 東海岸人ならびに鹿島村人は u 型指紋関係において西海岸人に比しその頻度たかく, 両群間においても後者においてその頻度が優る。一方西海岸人は w 型指紋関係において東海岸人ならびに鹿島村人に比してその頻度たかく, これ等 3 地方群は種族的に差異あるごとくに思考した。

C. 南北九州地方人の指紋頻度との比較

本項においては甌島東海岸, 西海岸および鹿島村人の前項の各頻度について南北九州地方人, すなわち三上教授の指導のもとに調査した中村および益子の北九州 (福岡県) 地方人, 馴田の南九州 (大隅半島人) 地方人およ

び西の種子島々人のそれと比較した。

1. 各型指紋の頻度

男女総指における各型指紋の頻度について

て比較表示した結果は表31(♂)および32(♀)のごとくである。

1) 甌島東海岸人： 男子における東海岸

表 31 九州地方人(♂)における各型指紋の頻度

地 方 名	調査人員	a	r	u	w	報 告 者
北九州地方人(筑後北部)	1,363	1.2±0.09	3.6±0.16	48.0±0.43	47.2±0.43	中 村
南九州地方人(大隅半島)	3,283	2.6±0.09	2.6±0.09	51.8±0.28	43.0±0.27	馴 田
種 子 島 々 人	1,400	1.5±0.10	3.1±0.15	51.4±0.41	44.0±0.42	西
甌 島 東 海 岸 人	3,600	1.2±0.05	3.9±0.10	54.4±0.26	40.5±0.25	村 永
甌 島 西 海 岸 人	610	1.0±0.12	2.8±0.21	47.6±0.63	48.6±0.63	村 永
甌 島 鹿 島 村 人	620	1.0±0.12	2.7±0.20	59.8±0.62	36.5±0.61	村 永

表 32 九州地方人(♀)における各型指紋の頻度

地 方 名	調査人員	a	r	u	w	報 告 者
北九州地方人(筑後北部)	1,334	2.0±0.09	2.5±0.14	53.3±0.43	42.5±0.43	中 村
北九州地方人(筑後南部)	3,095	2.0±0.08	2.3±0.09	52.6±0.28	43.1±0.28	益 子
南九州地方人(大隅半島)	3,600	3.2±0.09	2.0±0.07	55.8±0.26	39.1±0.26	馴 田
種 子 島 々 人	1,500	1.5±0.10	2.5±1.27	56.0±0.41	40.0±0.40	西
甌 島 東 海 岸 人	3,400	2.4±0.08	2.7±0.08	58.7±0.26	36.2±0.26	村 永
甌 島 西 海 岸 人	570	2.2±0.19	2.9±0.22	55.3±0.65	39.6±0.64	村 永
甌 島 鹿 島 村 人	735	1.3±0.13	2.1±0.17	63.9±0.55	32.7±0.54	村 永

人の u 型指紋の頻度は南九州地方人、種子島々人ならびに北九州地方人に優り、とくに北九州地方人とは $6.4\% \pm 0.50\%$ の頻差があり、w 型指紋の頻度は逆に北九州地方人、種子島々人ならびに南九州地方人において優り、北九州地方人とは $6.7\% \pm 0.49\%$ の頻差が存在する。

女子における東海岸の u 型指紋の頻度は種子島々人、南九州地方人ならびに北九州地方人に優り、とくに北九州地方人とは中村、益子の成績において各 $5.4\% \pm 0.50\%$ および $6.1\% \pm 0.38\%$ の頻差があり、w 型指紋は南九州地方人、種子島々人ならびに北九州地方人において優り、とくに北九州地方人とは中村、益子の成績において各 $6.3\% \pm 0.50\%$ および $6.9\% \pm 0.38\%$ の頻差がある。a および r 型指紋の頻度においては特徴的頻差はみとめられない。

2) 甌島西海岸人： 男子における西海岸人の u 型指紋の頻度は南九州地方人ならびに種子島々人よりもひくく(南九州地方人

Diff= $4.2\% \pm 0.68\%$ 、種子島々人 Diff= $3.8\% \pm 0.75\%$)、北九州地方人とはほとんど頻差なくこれに接近し、w 型指紋の頻度は南九州地方人ならびに種子島々人に優り(南九州地方人 Diff= $5.6\% \pm 0.68\%$ 、種子島々人 Diff= $4.6\% \pm 0.75\%$)、北九州地方人とは接近してこれよりも優る。女子における東海岸人の u 型指紋の頻度は種子島々人ならびに南九州地方人よりも見掛上ひくく、北九州地方人に優り(中村 Diff= $2.0\% \pm 0.77\%$ 、益子 Diff= $2.7\% \pm 0.7\%$)、w 型指紋の頻度もほぼ同様の傾向をもつて種子島々人ならびに南九州地方人に接近し、北九州地方人とは頻差があり(中村 Diff= $2.9\% \pm 0.76\%$ 、益子 Diff= $3.5\% \pm 0.68\%$) これよりもひくい。

3) 甌島鹿島村人： 男子における鹿島村人の u 型指紋の頻度は種子島々人、南九州地方人ならびに北九州地方人に優り、とくに北九州地方人とは $11.8\% \pm 0.75\%$ の頻差があり、w 型指紋の頻度は逆に北九州地方人、種子島々人ならびに南九州地方人において優り、

北九州地方人とは10.7%±0.74%の頻差がある。女子における鹿島村人の u 型指紋の頻度は男子同様種子島々人, 南九州地方人ならびに北九州地方人に優り, とくに北九州地方人とは頻差たかく (中村Diff=10.6%±0.69%, 益子 Diff=11.3%±0.61%), w 型指紋の頻度は逆にこれ等よりもひくく, とくに北九州地方人との頻差は大である。

4) 以上総指における u および w 型指紋の頻度から甌島東海岸, 西海岸および鹿島村人について考察すると, u 型指紋の頻度においては東海岸人および鹿島村人は男女ともに種子島々人, 南九州地方人および北九州地方人に優り, 逆に w 型指紋の頻度においてこれ等地方人におとる。而して西海岸人男子において w 型指紋の頻度において前3地方群に優り, u 型指紋の頻度においておとり, 女子においてはこれ等の関係は余り著明にはあらわれなかつた。しかれども w 型指紋の頻度は種子島々人ならびに南九州地方人のそれに優る。

2. 指紋配合式の頻度

つきに指紋配合式中, とくに頻度のたかい u₅ および w₅ 配合式について比較表示した結果は表33 (♂) および34 (♀) のごとくである。

1) 甌島東海岸人: 男子における東海岸人の u₅ 配合式の頻度は種子島々人, 南九州地方人ならびに北九州地方人に優り, とくに北九州地方人とは 2.7%±0.74% の頻差があり, w₅ 配合式の頻度では逆に北九州地方人, 種子島々人ならびに南九州地方人において優り,

表33 九州地方人 (♂) における u₅ および w₅ 指紋配合式の頻度

地方名	調査員	u u u u u	w w w w w	報告者
北九州地方人	1,363	12.0±0.62	15.0±0.68	中村
南九州地方人	3,283	13.6±0.42	12.6±0.41	馴田
種子島々人	1,400	14.0±0.66	13.3±0.64	西
甌島東海岸人	3,600	14.7±0.41	11.0±0.37	村永
甌島西海岸人	610	11.1±0.89	17.0±1.07	村永
甌島鹿島村人	620	21.5±1.16	8.3±0.78	村永

表34 九州地方人 (♀) における u₅ および w₅ 指紋配合式の頻度

地方名	調査員	u u u u u	w w w w w	報告者
北九州地方人	1,334	15.4±0.70	11.7±0.62	中村
北九州地方人	3,095	15.4±0.45	12.9±0.42	益子
南九州地方人	3,600	17.2±0.45	10.0±0.36	馴田
種子島々人	1,500	17.6±0.70	10.4±0.56	西
甌島東海岸人	3,400	20.2±0.48	9.3±0.35	村永
甌島西海岸人	570	17.0±1.11	11.5±0.94	村永
甌島鹿島村人	735	23.5±1.10	6.7±0.65	村永

北九州地方人とは 4.0%±0.77% の頻差がある。

女子における u₅ 配合式の頻度は男子の場合同様にして北九州地方人とは益子の成績においてみると 4.8%±0.65% の頻差があり, w₅ 配合式の頻度では逆に南九州地方人, 種子島々人ならびに北九州地方人に優り, とくに益子の成績とは 3.6%±0.54% の頻差がある。

2) 甌島西海岸人: 男子における西海岸人の u₅ 配合式の頻度は種子島々人, 南九州地方人ならびに北九州地方人におとり, 種子島々人とは 2.9%±1.1% の頻差があり, w₅ 配合式の頻度では逆にこれ等に優り, 種子島々人とは 3.7%±1.24% の頻差がある。女子における u₅ 配合式の頻度は種子島々人ならびに南九州地方人よりは見掛上頻度ひくく, 北九州地方人よりはたかく, 益子の成績とは 1.6%±1.20% の頻差がある。w₅ 配合式の頻度では逆の関係にあるが頻差はいずれも著明ではない。

3) 甌島鹿島村人: 男子における鹿島村人の u₅ 配合式の頻度は3地方群に比して頻度たかく, 北九州地方人とは 9.5%±1.39% の頻差があり逆に w₅ 配合式頻度ではおとり, 北九州地方人とは 6.7%±1.03% の頻差がある。

女子における u₅ および w₅ 配合式の頻度においても男子の場合同様であるが, 各頻差は男子の場合ほど著明ではない。

4) 以上 u₅ および w₅ 指紋配合式の頻度から甌島東海岸, 西海岸および鹿島村人につ

いて各考察すると、u₅ 配合式の頻度においては東海岸人および鹿島村人は男女ともに種子島々人、南九州地方人および北九州地方人に優り、逆に w₅ 配合式の頻度においてはこれ等地方人におとる。而して西海岸人は u₅ ならびに w₅ 配合式の頻度において男女ともに北九州地方人に接近し、とくに後者の頻度において著明である。

3. w 型指紋を基準とした指紋配合式の頻度

つぎに指紋配合式を w 型指紋をもつて整理して 3 指以上に w 型指紋を有する配合式と 3 指未満のものとの両群にわけてこの両頻度について比較表示した結果は表 35 (♂) および 36 (♀) のごとくである。

表 35 九州地方人 (♂) における w 型指紋を基準とした指紋配合式の頻度

地方名	調査員	w ₀₋₂	w ₃₋₅	報告者
北九州地方人	1,363	52.9±0.96	47.1±0.96	中村
南九州地方人	3,283	59.2±0.61	40.8±0.61	馴田
種子島々人	1,400	59.5±0.93	40.5±0.93	西
甌島東海岸人	3,600	61.9±0.81	38.1±0.81	村永
甌島西海岸人	610	52.7±1.42	47.3±1.42	村永
甌島鹿島村人	620	67.6±1.33	32.4±1.33	村永

表 36 九州地方人 (♀) における w 型指紋を基準とした指紋配合式の頻度

地方名	調査員	w ₀₋₂	w ₃₋₅	報告者
北九州地方人	1,334	59.1±0.95	40.9±0.95	中村
北九州地方人	3,095	58.0±0.63	42.0±0.63	益子
南九州地方人	3,600	63.2±0.57	36.8±0.57	馴田
種子島々人	1,500	63.9±0.88	36.1±0.88	西
甌島東海岸人	3,400	66.8±0.57	33.2±0.57	村永
甌島西海岸人	570	63.5±1.42	36.5±1.42	村永
甌島鹿島村人	735	72.7±1.16	27.3±1.16	村永

1) 甌島東海岸人： 男子における東海岸人の 3 指以下に w 型指紋を有する配合式の頻度は種子島々人、南九州地方人ならびに北九州地方人に優り、前 2 者とは著差はないが、北九州地方人とは 9.0%±1.24% の頻差がある。

女子においても男子同様であり、北九州地

方人とは中村の成績において 7.7%±1.11% の頻差がある。

3 指以上に w 型指紋を有する配合式の頻度は男女ともに 3 群よりもひくく、とくに北九州地方人との頻差は著明である。

2) 甌島西海岸人： 男子における西海岸人の 3 指以下に w 型指紋を有する配合式の頻度は種子島々人、南九州地方人ならびに北九州地方人におとる、種子島々人とは 6.8%±1.69% の頻差がある。

女子においては種子島々人、南九州地方人とはほとんど頻差なくこれに接近し、北九州地方人とは中村の成績において 4.4%±1.70% の頻差をもつて優る。

3 指以上に w 型指紋を有する配合式の頻度は男子においては北九州地方人のそれに優り、女子においてはおとる。

3) 甌島鹿島村人： 男子における鹿島村人の 3 指以下に w 型指紋を有する配合式の頻度は種子島々人、南九州地方人ならびに北九州地方人に優り、その頻度は東海岸にたいするよりもたかく、北九州地方人とは中村の成績において見ると 14.7%±1.62% の頻差がある。

女子においても男子同様であり、北九州地方人とは中村の成績において 13.6%±1.49% の頻差がある。

3 指以上に w 型指紋を有する配合式の頻度は男女ともに 3 群よりもひくく、とくに北九州地方人との頻差は著明である。

4) 以上 w 型指紋を基準とした指紋配合式の頻度から甌島東海岸、西海岸および鹿島村人について各考察すると、東海岸人および鹿島村人は男女ともに 3 指以下に w 型指紋を有する配合式よりみれば種子島々人、南九州地方人および北九州地方人に優り、西海岸人は男子において 3 指以上に w 型指紋を有する配合式の頻度よりみれば種子島々人および南九州地方人よりは、むしろ北九州地方人にきわめて接近する。女子においては逆に種子島々人ならびに南九州地方人により接近する。

D. 近隣諸民族ならびに諸種族の指紋頻度との比較

本研究の主眼は南方民族を中心として、これと九州日本人、とくに甌島々人との人種的關係を指紋の出現頻度からうかがわんとするものであり、すでに中村、益子、馴田、西は北九州地方人、南九州地方人ならびに種子島々人の各指紋について比較検討してきたが、著者は本項において甌島々人の指紋の各出現頻度について、これと近隣する代表的の民族ならびに種族と比較した。

1. 各型指紋の頻度

男女総指における各型指紋の頻度について比較表示した結果は表37(♂)および38(♀)のごとくである。

1) 甌島東海岸人：男子における東海岸人の u 型指紋の頻度は北九州日本人をふくめた満洲人、満蒙人、北支那人、中支那人、南支那人、朝鮮人に比してその頻度たかく、さらに南九州日本人をふくめた琉球人、台湾高砂族、ジャワ島インドネシア人に優り、むしろ後2者にきわめて接近している。一方 w 型指紋

表 37 近隣諸民族ならびに種族 (♂) における各型指紋の頻度

地 方 名	調 査 人 員	a	r	u	w	報 告 者
滿 蒙 人	6,570	2.2±0.06	3.2±0.07	44.3±0.19	50.3±0.20	山本
滿 洲 人	40,878	2.2±0.02	3.0±0.05	44.1±0.08	50.6±0.08	山本
北 支 那 人	10,460	2.4±0.05	3.0±0.05	45.3±0.15	49.4±0.15	山本
中 支 那 人	1,810	2.8±0.12	3.0±0.13	45.6±0.37	48.7±0.37	山本
朝 鮮 人	6,768	2.3±0.06	3.5±0.07	46.2±0.19	48.0±0.19	久保,三宅,田中,西尾,国房
日 本 人 (全国)	9,085	2.5±0.05	3.7±0.06	48.8±0.17	45.0±0.17	古瀬
北 九 州 日 本 人	1,363	1.2±0.09	3.6±0.16	48.0±0.43	47.2±0.43	中村
南 九 州 日 本 人	3,283	2.6±0.09	2.6±0.09	51.8±0.28	43.0±0.27	馴田
種 子 島 々 人	1,400	1.5±0.10	3.1±0.15	51.4±0.41	44.0±0.42	西
甌 島 々 人 { 東 海 岸 人	3,600	1.2±0.05	3.9±0.10	54.4±0.26	40.5±0.25	村永
甌 島 々 人 { 西 海 岸 人	610	1.0±0.12	2.8±0.21	47.6±0.63	48.6±0.63	村永
甌 島 々 人 { 鹿 島 村 人	620	1.0±0.12	2.7±0.20	59.8±0.62	36.5±0.61	村永
琉 球 人	429	1.9±0.21	2.8±0.25	48.4±0.76	46.9±0.76	金関,桑島,日比野,山本
台湾高砂族 (パイワン)	840	3.2±0.19	4.3±0.22	53.2±0.55	39.2±0.54	島,有住,吉江
インドネシア人 (ジャワ島)	5,511	1.5±0.05	2.6±0.07	53.3±0.21	42.6±0.21	三上

表 38 近隣諸民族ならびに種族 (♀) における各型指紋の頻度

地 方 名	調 査 人 員	a	r	u	w	報 告 者
滿 洲 人	5,996	4.0±0.08	2.4±0.06	47.8±0.20	45.8±0.20	山本
北 支 那 人	2,100	4.5±0.14	2.4±0.11	48.3±0.34	44.9±0.34	山本
朝 鮮 人	1,225	3.9±0.18	2.7±0.15	48.5±0.45	44.9±0.45	久保,三宅,田中,西尾,国房
北 九 州 日 本 人	1,334	2.0±0.09	2.5±0.14	53.3±0.43	42.2±0.43	中村
南 九 州 日 本 人	3,095	2.0±0.08	2.3±0.09	52.6±0.28	43.1±0.28	益子
種 子 島 々 人	3,600	3.2±0.09	2.0±0.07	55.8±0.26	39.0±0.26	馴田
甌 島 々 人 { 東 海 岸 人	1,500	1.5±0.10	2.5±1.27	56.0±0.41	40.0±0.40	西
甌 島 々 人 { 西 海 岸 人	3,400	2.4±0.08	2.7±0.08	58.7±0.26	36.2±0.26	村永
甌 島 々 人 { 鹿 島 村 人	570	2.2±0.19	2.9±0.22	55.3±0.65	39.6±0.64	村永
甌 島 々 人 { 鹿 島 村 人	735	1.3±0.13	2.1±0.17	63.9±0.55	32.7±0.54	村永
琉 球 人	309	2.4±0.28	2.7±0.27	58.3±0.99	36.6±0.87	金関,桑島,日比野
台湾高砂族 (パイワン)	848	2.3-4.87	2.3-4.6	56.2-64.1	28.7-39.5	久藤,鈴木,有住,吉江
インドネシア人 (ジャワ島)	3,659	2.2±0.08	1.9±0.07	59.7±0.26	36.2±0.25	三上

の頻度においても同様の傾向において差異があり、u 型指紋の頻度同様台湾高砂族ならびにジャワ島インドネシア人にきわめて接近している。

女子における東海岸人の u 型指紋の頻度はほぼ男子のそれと平行し、琉球人、台湾高砂族、ジャワ島インドネシア人にきわめて接近する。w 型指紋の頻度においても u 型指紋のそれときわめて近似した傾向を示している。

2) 甌島西海岸人：男子における西海岸人の u 型指紋の頻度は満洲人、満蒙人、北支那人、中支那人、南支那人、朝鮮人についてひくく、逆に w 型指紋の頻度はこれ等に前後してたかく、南九州日本人、種子島々人をふくめた琉球人、台湾高砂族、ジャワ島インドネシア人とは差異がある。

女子における u ならびに w 型指紋の頻度は満洲人、北支那人および朝鮮人よりはむしろ琉球人、台湾高砂族、インドネシア人に接近している。

3) 甌島鹿島村人：男女ともに鹿島村人は u 型指紋の頻度において琉球人、台湾高砂族、ジャワ島インドネシア人のそれよりも優り、w 型指紋の頻度においては満洲人、北支那人、朝鮮人に優り、これ等両群とはきわめて差異がある。

4) 以上総指における u および w 型指紋の頻度から甌島東海岸、西海岸および鹿島村人について考察すると、男女ともに東海岸人および鹿島村人は u 型指紋の頻度において満蒙人、満洲人、北、中、南支那人、朝鮮人、所謂大陸人のそれとは著差がありこれに優り、さらに台湾高砂族およびジャワ島インドネシア人のそれとも優るが東海岸人においてはこれときわめて接近している。w 型指紋の頻度においては大陸人のこれ等におとる。西海岸人における u 型指紋の頻度は上記大陸人のそれに優るも著差なくむしろこれに接近し、台湾高砂族、ジャワ島インドネシア人にたいしてはおとり著差がある。w 型指紋の頻度においては大陸人のそれにおとるも、男子においてはきわめて接近する。

2. 指紋配合式の頻度

指紋配合式中、とくに頻度のたかい u₅ および w₅ 指紋配合式について比較表示した結果は表39 (♂) および40 (♀) のごとくである。

表39 近隣諸民族ならびに種族 (♂) の u₅ および w₅ 指紋配合式の頻度

地方名	調査員	u u u u u	w w w w w	報告者	
満洲人	40,878	8.6±0.10	15.8±0.13	山本	
北支那人	10,460	9.3±0.20	15.8±0.25	山本	
中支那人	1,810	8.1±0.45	15.6±0.60	山本	
朝鮮人	2,677	9.2±0.39	14.3±0.48	田中	
北九州日本人	1,363	12.0±0.62	15.0±0.68	中村	
南九州日本人	3,600	13.6±0.42	12.6±0.41	副田	
種子島々人	1,400	14.0±0.66	13.3±0.64	西	
甌島々人	東海岸人	3,600	14.7±0.41	11.0±0.37	村永
	西海岸人	610	11.1±0.89	17.0±1.07	村永
	鹿島村人	620	21.5±1.16	8.3±0.78	村永
インドネシア人(ジャワ島)	5,511	13.4±0.32	10.5±0.29	三上	

表40 近隣諸民族ならびに種族 (♀) の u₅ および w₅ 指紋配合式の頻度

地方名	調査員	u u u u u	w w w w w	報告者	
満洲人	5,996	10.5±0.28	12.8±0.31	山本	
北支那人	2,100	10.3±0.47	12.2±0.51	山本	
朝鮮人	514	10.0±0.94	13.6±1.07	田中	
北九州日本人	1,334	15.4±0.70	11.7±0.62	中村	
南九州日本人	3,095	15.4±0.45	12.9±0.42	益子	
南九州日本人	3,600	17.2±0.45	10.0±0.36	副田	
種子島々人	1,500	17.6±0.70	10.4±0.56	西	
甌島々人	東海岸人	3,400	20.2±0.48	9.3±0.35	村永
	西海岸人	570	17.0±1.11	11.5±0.94	村永
	鹿島村人	735	23.5±1.10	6.7±0.65	村永
インドネシア人(ジャワ島)	3,659	17.9±0.45	6.7±0.29	三上	

1) 甌島東海岸人：男子における東海岸人の u₅ 指紋配合式の頻度は北九州日本人をふくめた満蒙人、北支那人、中支那人、朝鮮人等に比してその頻度たかく、さらにジャワ島インドネシア人のそれよりも高頻度であるが、これにより接近する。w₅ 指紋配合式の頻度は前群に比して頻差がありひくく、ジャワ島インドネシア人とは u₅ 指紋配合式の場合同様これに接近する。

女子における東海岸人の u_5 および w_5 指紋配合式の頻度も男子とはほぼ同一の傾向をもつて前群とは差異があり, ジャワ島インドネシア人に接近する。

2) 甌島西海岸人: 男子における西海岸人の u_5 指紋配合式の頻度は満洲人, 北支那人, 中支那人, 朝鮮人よりもたかく頻差があり, ジャワ島インドネシア人のそれよりは高率であるが前者群よりはこれに接近する。 w_5 指紋配合式の頻度においては前群よりもひくく頻差があり, またジャワ島インドネシア人に比しても高率であり, きわめて頻差がある (Diff = 6.5% ± 1.10%)。

女子における西海岸人の u_5 ならびに w_5 指紋配合式の頻度も男子とはほぼ同一の傾向をもつて前群とは差異があり, とくに w_5 指紋配合式の頻度においてはジャワ島インドネシア人間にきわめて頻差があり (Diff = 4.8% ± 0.93%) これに優る。

3) 甌島鹿島村人: 男女ともに鹿島村人は u_5 指紋配合式の頻度においてはジャワ島インドネシア人のそれよりも優り, w_5 指紋配合式において満洲, 北支那, 朝鮮人に劣り, これ等両群とはきわめて差異がある。

4) 以上 u_5 および w_5 指紋配合式の頻度から甌島東海岸, 西海岸および鹿島村人について考察すると, 男女ともに東海岸人および鹿島村人は u_5 指紋配合式の頻度において満洲人, 北支那人, 中支那人, 朝鮮人, 所謂大陸人のそれとは高頻差をもつてこれ等に優り, さらにジャワ島インドネシア人のそれとも優るが東海岸人においてはこれと接近する。 w_5 指紋配合式の頻度においては大陸人のこれ等におとる。西海岸人における u_5 指紋配合式の頻度は大陸人のそれに優るもその頻差は東海岸人および鹿島村人のそれに比して著明ならず, w_5 指紋配合式の頻度についても同様である。ジャワ島インドネシア人とは w_5 指紋配合式の頻度において著差があり, これに優る。

3. w型指紋を基準とした指紋配合式の頻度

指紋配合式を w 型指紋をもつて整理して

3指以上に w 型指紋を有する配合式と, 3指未満のものとの両群にわけて, この両群の頻度について比較表示した結果は表41 (♂) および42 (♀) のごとくである。

表41 近隣諸民族ならびに種族 (♂) における w 型指紋を基準とした指紋配合式の頻度

地方名	調査人	w0-2	w3-5	報告者	
満洲人	40,878	49.0 ± 0.17	51.0 ± 0.17	山本	
北支那人	10,460	50.7 ± 0.35	49.3 ± 0.35	山本	
中支那人	1,810	51.6 ± 0.83	48.4 ± 0.83	山本	
朝鮮人	5,705	53.7 ± 0.47	46.3 ± 0.47	山本	
北九州日本人	1,363	52.9 ± 0.96	47.1 ± 0.96	中村	
南九州日本人	3,600	59.2 ± 0.61	40.8 ± 0.61	馴田	
種子島々人	1,400	59.5 ± 0.93	40.5 ± 0.93	西	
甌島々人	東海岸人	3,600	61.9 ± 0.81	38.1 ± 0.81	村永
	西海岸人	610	52.7 ± 1.42	47.3 ± 1.42	村永
	鹿島村人	620	67.6 ± 1.33	32.4 ± 1.33	村永
インドネシア人(ジャワ島)	5,511	59.8 ± 0.47	40.2 ± 0.47	三上	

表42 近隣諸民族ならびに種族 (♀) における w 型指紋を基準とした指紋配合式の頻度

地方名	調査人	w0-2	w3-5	報告者	
満洲人	5,996	55.5 ± 0.45	44.5 ± 0.45	山本	
北支那人	2,100	55.5 ± 0.77	44.5 ± 0.77	山本	
朝鮮人	366	58.6 ± 1.82	41.4 ± 1.82	山本	
北九州日本人	1,334	59.1 ± 0.95	40.9 ± 0.95	中村	
北九州日本人	3,095	58.0 ± 0.63	42.0 ± 0.63	益子	
南九州日本人	3,600	63.2 ± 0.57	36.8 ± 0.57	馴田	
種子島々人	1,500	63.9 ± 0.88	36.1 ± 0.88	西	
甌島々人	東海岸人	3,400	66.8 ± 0.57	33.2 ± 0.57	村永
	西海岸人	570	63.5 ± 1.42	36.5 ± 1.42	村永
	鹿島村人	735	72.7 ± 1.16	27.3 ± 1.16	村永
インドネシア人(ジャワ島)	3,659	67.9 ± 0.55	32.1 ± 0.55	三上	

1) 甌島東海岸人: 男子における東海岸人の3指以下に w 型指紋を有する配合式の頻度は北九州日本人をふくめた満洲人, 北支那人, 中支那人, 朝鮮人に比してその頻度たかく, さらにジャワ島インドネシア人のそれよりも高頻度ではあるが, これにより接近する。

女子においても男子同様であるがジャワ島インドネシア人とは少々おとるが、きわめてこれに接近する。3指以上にw型指紋を有する頻度は前群におとる、ジャワ島インドネシア人とは接近する。

2) 甌島西海岸人：男子における西海岸人の3指以下にw型指紋を有する配合式の頻度は満蒙人、北支那人、中支那人、朝鮮人に接近し、ジャワ島インドネシア人とは頻差があり(Diff=7.1%±1.48%)、これにおとる。女子においては逆に満洲人、北支那人、朝鮮人に優り、ジャワ島インドネシア人におとる、少々頻差がある(Diff=4.4%±1.5%)。3指以上にw型指紋を有する頻度は前群におとる、ジャワ島インドネシア人のそれに優る。

3) 甌島鹿島村人：鹿島村人の3指以下にw型指紋を有する配合式の頻度は男女ともに両群に優り、むしろジャワ島インドネシア人に接近する。3指以上にw型指紋を有する配合式の頻度は逆に両群に比してひくい。

4) 以上w型指紋を基準とした指紋配合式の頻度から東海岸、西海岸および鹿島村人について各考察すると、男女ともに東海岸人および鹿島村人は3指以下にw型指紋を含む頻度は満洲人、北支那人、中支那人、朝鮮人に優り、ジャワ島インドネシア人に接近する。

西海岸人は男子において満洲人、北支那人、中支那人、朝鮮人にきわめて接近しているがジャワ島インドネシア人とは頻差があり、これにおとる、女子においてはいずれもこれ等と頻差があり、ジャワ島インドネシア人のそれにおとる。

総 括

ジャワ島インドネシア人を中心とする南方地方人の指紋の頻度と九州日本人ならびに対岸大陸人等のそれと比較して、もつて九州日本人の人類学的研究を企図している当教室の研究の一端として中村、益子は北九州地方人、

馴田は南九州地方人、西は種子島々人の指紋を調査し、南九州地方人ならびに種子島々人は男女ともに北九州地方人間に頻差が存在し、琉球人ならびにインドネシア人等の南方地方人に接近し、北九州地方人は朝鮮人、さらに支那人、満洲人等により接近しているとのべている。

著者は本研究の一端を分担して九州島の南西海上に存在し、支那大陸、九州島ならびに南方地方にたいする島嶼位置等から人種学的にきわめて興味を存する甌島々人の指紋の各頻度について、同島の地形的関係等からこれを東海岸、西海岸および鹿島村人にかけて調査し、これと周囲関係諸民族ならびに種族と比較考察した結果はつぎのごとくに総括される。

1. 甌島東海岸、西海岸および鹿島村人の頻度

a) 4種指紋型の頻度については男女ともに東海岸人および鹿島村人においてu型指紋の頻度たかく、西海岸人においてはw型指紋の頻度がたかい。而して鹿島村人は東海岸人に比してu型指紋の頻度がさらに優る。

b) 代表的u₅およびw₅指紋配合式の頻度については男女とも東海岸人および鹿島村人は前者において西海岸人よりもその頻度たかく、西海岸人は逆に後者において両群に優る。而して鹿島村人は東海岸人に比してさらにu₅指紋配合式の頻度が優る。

c) 指紋配合式中3指以上にw型指紋を有する配合式と、3指以上にこれを欠くものとの両群にわけて観察すると、男女ともに後者にその頻度たかく、かつ東海岸人および鹿島村人は西海岸人に優り、鹿島村人は東海岸人に比しその頻度たかい。

d) 以上の各成績から3群はともに各指紋の頻度において差異があり、東海岸人ならびに鹿島村人はu型指紋関係において西海岸人に比してその頻度たかく、両群間においても後者にその頻度がたかい。一方西海岸人はw型指紋関係において東海岸人および鹿島村人に比してその頻度たかく、これ等3群は種

族的に差異あるごとくに思考するが, その地形的関係等から考察してきわめて興味がある。

2. 南北九州地方人と甌島々人の頻度

a) 4種指紋型の頻度については東海岸人および鹿島村人はu型指紋の頻度において男女ともに種子島々人, 南九州地方人および北九州地方人に優り, 逆にw型指紋の頻度においてはこれ等地方人におとる。西海岸人は男子においてw型の指紋の頻度においては前3地方人に優り, u型指紋の頻度においておとり, 女子においてはこれ等の関係があまり著明にあらわれなかつたが, w型指紋の頻度において種子島々人ならびに南九州地方人に優る。

b) 代表的u₅およびw₅指紋配合式の頻度については東海岸人および鹿島村人はu₅指紋配合式の頻度において男女ともに種子島々人, 南九州地方人および北九州地方人に優り, 逆にw₅指紋配合式の頻度においてはこれ等地方人におとる。西海岸人は男女ともに種子島々人および南九州地方人に比しより北九州地方人に接近し, とくに後者の頻度において著明である。

c) w型指紋を基準とした配合式の頻度においては東海岸人および鹿島村人は男女ともに3指以下にw型指紋を有する配合式の頻度において種子島々人, 南九州地方人および北九州地方人に優り, 西海岸人は男子においては北九州地方人に, 女子においては種子島々人および南九州地方人により接近している。

d) 以上の各

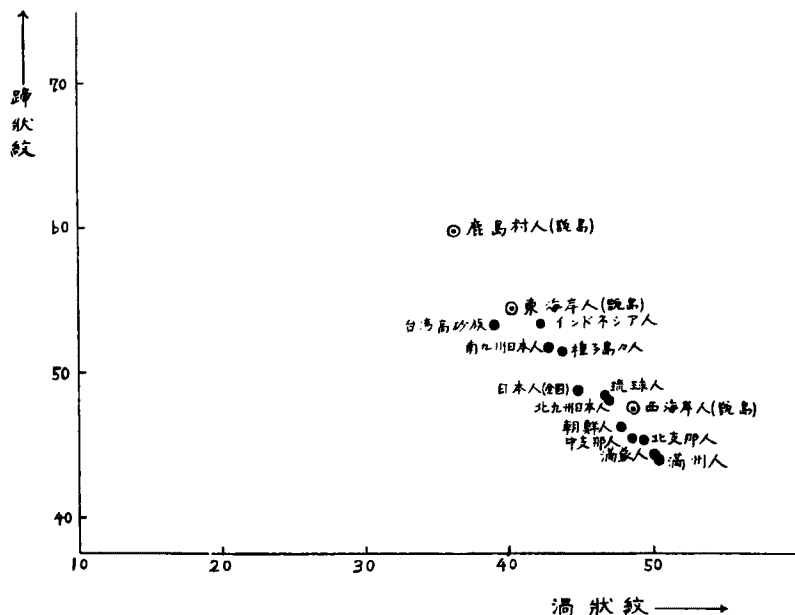
成績から東海岸人ならびに鹿島村人はu型指紋関係において優る点において種子島々人ならびに南九州地方人, 所謂, 南九州地方群に偏し, 西海岸人は大部分の点において北九州地方人に偏し, 東海岸人および鹿島村人では後者においてu型指紋関係においてより優る点においてより南方的のごとくに思考された。

3. 近隣諸民族ならびに種族と甌島々人の頻度

a) 4種指紋型の頻度について東海岸人および鹿島村人は男女ともにu型指紋の頻度において満蒙人, 満洲人, 北, 中, 南支那人, 朝鮮人, 所謂大陸人とは著差があり, これに優り, さらに台湾高砂族およびジャワ島インドネシア人のそれとも優るが東海岸人はこれにきわめて接近する。w型指紋の頻度においてはこれ等大陸人におとる。西海岸人は両頻度においてむしろ大陸人に接近する。

b) 代表的u₅およびw₅指紋配合式の頻度について東海岸人および鹿島村人は男女ともにu₅指紋配合式の頻度において前項大陸人に優り, さらにジャワ島インドネシア人のそれとも優るが東海岸人はこれに接近する。

図 3 (8)



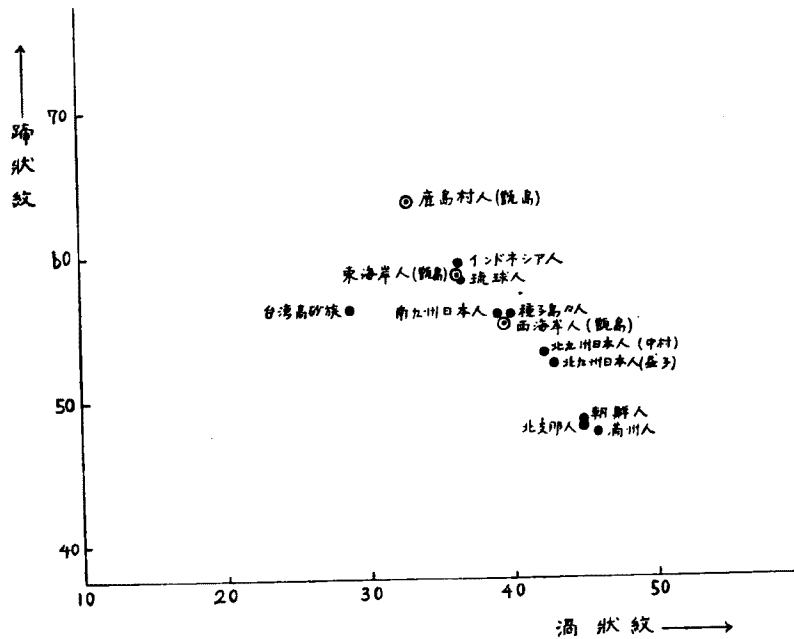
w₅指紋配合式の頻度においては大陸人のそれにおとる。西海岸人においては有為の差がみとめられなかつたが w₅ 指紋配合式の頻度においてはジャワ島インドネシア人とは著差あり、これに優る。

c) w型指紋を基準とした配合式の頻度について東

海岸人および鹿島村人は男女ともに3指以下にw型指紋をふくむ頻度において前記大陸人のそれに優り、ジャワ島インドネシア人に接近する。西海岸人は男子においては大陸人にきわめて接近し、ジャワ島インドネシア人とは頻差が存在するが、女子においては特徴的頻差は認められなかつた。

d) 以上の各成績から東海岸人ならびに鹿島村人はu型指紋関係において優る点においてジャワ島インドネシア人に偏し、西海岸人はw型指紋関係において満蒙人、満洲人、北、中、南支那人、朝鮮人、所謂大陸人に偏し、東海岸人および鹿島村人、とくに後者に

図 4 (♀)



においてu型指紋関係においてより南方のごとくに思考された。

如上の関係を男女におけるuおよびw型指紋の頻度について指紋分布図を作成してみると図3, 4のごとくである。

(稿を終るにあたり、御懇篤な御指導、御校閲を賜った恩師三上教授に満腔の敬意と深甚の謝意をあらわすとともに、終始かわらぬ御鞭撻を賜った恩師町野教授に感謝の誠をささげ、あわせて史料について御教示下された三友、国分、寺師、原口の諸氏、調査に協力された靛島部落民および学校当局にたいしては記して感謝の意を表します)

主 要 文 献

- 1) 足立文太郎：東京人類学誌，248号（明治39年），252号（明治40年）増補，日本人體質の研究（昭和19年）
- 2) 羽生純夫・薩摩農村人口の動態的研究（第4～5報）鹿兒島大学教育学部研究紀要，第8巻，人文社会科篇（昭和31年）
- 3) 長谷部言人：民族学研究，13巻，3号（昭和24年），日本人の祖先（昭和26年）
- 4) 波多江信広：宇治群島及び草垣島の地質（昭和31年）
- 5) 伊藤美幸：靛島見聞，鹿兒島県地理学会紀要，第2号（昭和26年）
- 6) 岩永，益子，中尾：久留米医誌，13巻，1～2号（昭和25年）；14巻，1～2，3～4号（昭和26年）
- 7) 鹿兒島県：鹿兒島県史，1巻，2巻（昭和14年）

- 8) 鹿児島県教育会：薩隅日地理纂考（明治31年）
- 9) 金岡丈夫：人種の問題，日本考古学講座，4巻，彌生文化（昭和30年）
- 10) 神田清信：百合の国甌島の研究，郷土の地理，第2集（昭和12年）
- 11) 清野謙次：日本微生物学誌，16巻，3号（大正11年），増補：日本原人の研究（昭和19年），太平洋に於ける民族文化の交流（昭和19年），日本人種論変遷史（昭和19年），日本民族生成論，日本歴史のあけぼの（昭和22年），人類の起源（昭和25年）
- 12) 小林久雄：九州の縄文土器，人類学先史学講座，第11巻（昭和14年）
- 13) 小山栄三：人類誌，人類学先史学講座，第5巻（昭和13年）
- 14) 小藺米：甌島の地理，地球，11巻，5号（昭和4年），甌島の零細農，鹿児島県地理学会紀要，第2号（昭和26年）
- 15) 松本信広：民族学研究，13巻，2号（昭和23年）
- 16) 益子龍介：久留米医誌，13巻，3～4号，7～8号，11～12号（昭和25年），15巻，3～4号（昭和27年）
- 17) 三森定男：先史時代の西部日本，人類学先史学講座，第1巻，第2巻（昭和13年）
- 18) 三友国五郎：薩南諸島の先史地理的調査，埼玉大学紀要，人文，社会学篇（昭和28年）
- 19) 中村正雄：久留米医誌，12巻，1～2号（昭和24年）
- 20) 馴田浩章：鹿児島大学医誌，7巻，2号，3号（昭和30年）
- 21) 西要：鹿児島大学医誌，8巻，5号（昭和32年）
- 22) 西村真次：日本上代史上の諸種族，人類学先史学講座，11巻（昭和14年）
- 23) 寺師見国：鹿児島県の彌生式土器，鹿児島県考古学会紀要，第1号（昭和27年）
- 24) 徳留三俊：久留米医科大学第2解剖学教室論文集，第3冊（昭和24年），熊本大学医学部第2解剖学教室論文集，第1冊（昭和26年）
- 25) 横尾安夫：日本民族論。
- 26) 吉田喜代志：久留米医科大学第2解剖学教室論文集，第3冊（昭和24年）

A Study on the Islanders of Koshikijima, from the Viewpoint
of their Fingerprint and Blood Type.

Part I.

Frequency of Fingerprint emerging in the
Islanders of Koshikijima

By

Kenzo MURANAGA

Department of Legal Medicine, Faculty of Medicine, Kagoshima University
(Director: Prof. Dr. Y. MIKAMI)

The author, as a research result of our department intent on the anthropological and enological investigation to make comparisons between the fingerprint frequency found in those Southern people of which Indonesians of Java consists the center, and that found in Japanese people living in Kyushu and people living in the continent over there to say more properly, having studied in detail the afore-said frequency, in regard to the inhabitants of Koshikijima, which, lying southwest of Kyushu, and against China Continent, Kyushu, or southern island, has a very significant relation anthropologically; as to this, he has investigated as well as compared those results obtained among the inhabitants, dividing them into

three group, the east coast and west coast as well as that of Kashima; then, all the results have been considered minutely in contrast to the surrounding tribes, until he arrived at the following somewhat marked purport;

1) Frequency of fingerprints found among those of east-coasters and west-coasters of Koshikijima, and villagers of Kashima; all these groups prove difference in the frequency; easteners and Kashima villagers proved higher frequency in U-type compared to west-coasters, besides, between the former two, the latter proved higher. Whereas, the west-coasters proved higher in W-type frequency, compared to east-coasters or Kashima villagers. Altogether, these group seen to differ racially.

2) The frequency of fingerprints between southerners and northerners of Kyushu and islanders of Koshikijima; east-coaster as well as Kashima villagers, in their prevalence in U-type fingerprints, tends to islanders of Tanegashima, or inhabitants of southern Kyushu, i. e., to the local inhabitants of southern Kyushu; while, the west-coasters, in most points, resembles the northern Kyushuist; also, as for south-Kyushu people and Kashima villagers, the latter may be said to resemble more to the southern people, in their prevalence of U-type fingerprints.

3) The frequency of fingerprints found in Koshikijima people, compared to those of various neighbour tribes or races; The east-shore people and Kashima villagers, who are found to be superior in U-type fingerprint, proved to resemble to the Indonesians of Java; while, west-coasters who have proved prevalent in W-type fingerprints, tend to the so-called continentals, i. e., Manchurians, Mongolians (Mongola), Chinese or Koreans (Chosenese). On the other hand, in case we contrast East-coasters with Kashima islanders, the latter, as they prove more frequent in U-type fingerprint, may be justly considered to tend to southern race.
